

## Q9

人権教育の取組が学力に反映するということがいわれますがどのようなことですか。

**A** 校内に人権教育の理念に基づく教育活動を行き渡らせ、一人一人の存在や思いを大切にすることは、「確かな学力」を育む上において重要な観点の一つとなると考えられます。

### 【進路保障の取組と確かな学力】

これまで本県の同和教育において大切にされてきた取組の一つに「進路保障」の取組があります。「進路保障」とは、同和地区の子どもたちをはじめとしたすべての子どもたちが、将来をたくましく切り拓いていこうとする態度や能力を身に付けていくよう、個々の児童生徒の実態の把握を踏まえた幅広い教育活動を計画的に進めていくことです（同和教育指導資料第19集 P18,19）（本書P6）。

なかでも、子どもたちが将来自立して安定した生活を送るために必要な「確かな学力」の育成は、学校教育における重要な課題の一つであり、これまで一人一人の学習実態の把握に基づくきめ細やかな指導の工夫や、支え合い、学び合う集団づくりの取組などが進められてきました。

### 【人権教育の視点からの学校づくりと学力向上】

〔第三次とりまとめ〕は、「学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進」という項目の中で、「『確かな学力』を育む上では、児童生徒一人一人の個性や教育的ニーズを把握し、学習意欲を高め、指導の充実を図っていくことが必要であり、そのためには、学校・学級の中で、一人一人の存在や思いが大切にされるという環境が成立していなければならない。」（在り方編P15）と述べています。

学校全体として「一人一人を大切にし、個に応じた目的意識のある学習指導に取り組む」等の教育目標の共通理解を図るとともに、学ぶことの楽しさを体験させ、望ましい人間関係を培い、学習意欲の向上に努めるなど、人権教育の理念に基づく取組を大切にすることは、学習指導の効果的な実施を図る上での重要な観点となり、「確かな学力」を育む上で大きな力となることは明らかです。

### 【効果のある学校】

このほかにも【参考】として、教育的に不利な環境のもとにある児童生徒の学力水準を、学力向上と人権感覚の育成とを併せて追求することで押し上げることに成功している学校の存在を紹介しています。「効果のある学校」と呼ばれ、以前からアメリカなどにおいて研究の対象とされてきたこれらの学校では、人権感覚の育成は、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占める学力形成においても大きな効果を上げていると述べています。その背景として、やはり「一人一人の個性やニーズに応じた基礎学力を獲得するためには、学校・学級の中で、現実に一人一人の存在や思いが大切にされるという状況が成立していなければならないからである。」（在り方編P15）と指摘し、人権尊重の理念に基づく教育活動を校内に行き渡らせることの大切さを改めて訴えています。

### ふりかえり

日々の教育活動において、一人一人の児童生徒の存在を大切にするために、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。または、取り組めばよいと考えますか。

参考資料 人権が尊重される授業づくりの視点例（実践編P3抜粋）

視 点	ねらい	ポイント・留意点
自己存在感を持たせる支援を工夫する。	「授業に参加している」という実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容や活動に応じた座席の工夫や発問・応答のパターンの工夫を行う。</li> <li>○ 児童生徒の既習事項や生活体験、興味・関心等を把握し、様々な視点から解決できるように課題設定の工夫を行う。</li> <li>○ 児童生徒の学習意欲や習熟の度合いを把握し、課題（教材）を複数準備したり、ヒントカードを与えたりする。</li> <li>○ 結果にこだわらず、思考過程や学習過程を認める。</li> </ul>
	「自分が必要とされている」という実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意図的な指名等、一人一人が活躍する場や課題を工夫する。</li> <li>○ 自由な発想や方法が認められたり、自己選択できる場を工夫する。</li> <li>○ 互いの発言を最後まで聴く習慣や誤答を大切にすることを身に付けさせる。</li> <li>○ 協力して活動できる場を工夫し、互いの考えや方法のよさに気付かせる。</li> </ul>
	教師自身が一人一人を大切にする姿勢を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人の名前を呼び、目を見て話す。話をよく聴く。</li> <li>○ 発言しない児童生徒に配慮するとともに、適切な支援を行う。</li> <li>○ 承認・賞賛・励ましの言葉をかけ、個に応じた改善課題や改善方法を示す。</li> </ul>
共感的人間関係を育成する支援を工夫する。	「自分が受け入れられている」と実感できる雰囲気をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「誰にでも失敗はある」、「誰もがよさや弱さを持っている」という認識に立って、互いを尊重し合う人間関係づくりを行う。</li> <li>○ 一人一人が自由に発言できる雰囲気づくりを行う。</li> <li>○ 教師の意図と異なる考えを抑圧したり切り捨てたりしない。</li> </ul>
	「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者の発言や作品のよさに気付き、学ぼうとする態度を育てる</li> <li>○ 自分の考えと異なる意見や感情を拒絶せず、それを理解する技能を育てる。</li> <li>○ 他者の気持ちや立場を考えて自分の言動を選択・構成する態度を育てる。</li> <li>○ 互いの役割や責任を認め合う態度を育てる。</li> </ul>